

2021年06月22日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【経済も二流の日本】

オリンピック関連のニュースがおびただしい。

オリンピックの開会式が7月23日で、サッカーなどの競技は7月21日から始まる。

だから、残り、あと1か月なので、それも当然なのだろう。

多くの日本国民が、コロナウイルスの蔓延で、その開催に疑問を持っているにもかかわらず、なし崩し的に、その開催が決定された印象だ。

いまさら、もう中止はないのだろうが、個人的には、今年の東京オリンピックは、中止するべきだ、と考えている。

国民の声が、全く届かない現在の日本の政治のシステムに、憤りを感じるとともに、中国や北朝鮮のような、情報統制、強権発動と同様の恐怖感がある。

+++++

元々、日本の政治には期待していない。

日本の政治は、昔から、二流と言われてきたし、過去30年から40年程度を振り返って、その通りだったことを記憶している。

残念なことは、日本の政治二流でも、日本の経済は一流と言われてきたはずなのに、今回のコロナ禍で、事実上、経済も二流であることが判明したこと。

例えば、日本のインターネット環境が、中国や韓国よりも遅れていることが、明らかになった。

学校の授業などを比較すれば、日本のシステムの方が遅れている。

中国や韓国の方が、在宅で、授業を受ける仕組みが進んでいた。

もちろん、日本は、すぐに対応して、日本でもインターネット授業は当たり前になったが、その当初には、対応に右往左往した。

コロナウイルスのワクチンの開発にしても、同様のことが言える。

ワクチンの有効性の問題、つまり、ワクチンの質の問題はあるが、中国は自国でワクチンを開発した。

日本製のワクチンは、未だに無い。

個人的には、日本が遅れていることに気が付いていなかった。

相変わらずに、日本の経済は一流と思い込んでいた。

(そう思っていた自分がある)

しかし、残念なことに、現実を見つめる必要を感じる。

日本が、世界第二位の経済大国ではない状況となって、すでに久しい。

現実を見ると、第三位とも言いかねる地位にある、と感じている。

日本の経済が、その程度に過ぎないことを踏まえて、外国為替相場を分析する必要がある、と考えている。

つまり、政治も二流、経済も二流の日本ととらえて、相場を見る、ということだ。

日本の地位の低下は、とても残念ではあるが、現実から目をそむけては、正しい結果は得られない、と危惧している。

+++++

(2021年06月22日東京時間15:30記述)